

科目名	合唱Ⅱ・Ⅳ・Ⅵ・Ⅷ B, D	形態	演習	開講期	秋学期
担当教員	荻野 砂和子	単位	1	年次	1, 2, 3, 4

### ＝授業科目の目標＝

春学期に引き続き、多くの人が集まって創り出すハーモニーの魅力を味わい、それによって、音楽をする上で不可欠となるアンサンブル能力を育てる。体を使って声を出すことにより、自己表現のひとつの方法を習得する。毎回行うハーモニー練習によって、合唱での声の響きを聴き合う耳を育てていく

### ＝履修の条件と学習の方法＝

楽譜を持参すること。隣の人に見せてもらうのは不可。持参しない場合は出席できません。コピー譜原則不可ですが、楽譜を忘れた場合、授業で使う箇所をコピーして持参することは認めます。なるべく予習して、早く音楽をつかみ、感じ取れるように努力すること

### ＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。パート分け
- 2回 第1曲 「八木節」パート別による音程、リズムの確認、その後アンサンブル練習
- 3回 第1曲 「八木節」アンサンブルによる音程、リズムの確認、歌詞付け
- 4回 第1曲 「八木節」アンサンブル練習、曲作り、歌いこみ
- 5回 第2曲 「河内音頭」パート別による音程、リズム、歌詞の確認  
第1曲 「八木節」歌いこみ
- 6回 第2曲 「河内音頭」アンサンブル練習による音程、リズムの確認、  
第1曲 「八木節」歌いこみ、仕上げ
- 7回 第2曲 「河内音頭」曲作り、歌いこみ
- 8回 少人数のグループに分かれ、履修曲を発表、批評し合う
- 9回 第3曲 「こきりこ節」パート別練習による音程、リズムの確認、歌詞付け
- 10回 第3曲 「こきりこ節」アンサンブル練習による音程、リズムの確認
- 11回 第3曲 「こきりこ節」歌いこみ、曲作り  
第4曲 「ソーラン節」パート練習
- 12回 第3曲 「こきりこ節」仕上げ  
第4曲 「ソーラン節」歌い込み
- 13回 第4曲 「ソーラン節」仕上げ  
全曲の返し練習
- 14回 全曲の仕上げ、発表箇所の決定
- 15回 選択した箇所を一人ずつ（グループ）練習し発表

### ＝成績評価の方法と評価の基準＝

授業内に行う発表にて習熟度を見ます。  
演習授業の形態なので、出席状況を大いに考慮します。

### ＝テキスト（必携）＝

書籍名：混声合唱とピアノのための  
「民謡ラブソディ」

編曲 : 石若雅弥  
出版社 : カワイ出版